



# 第6回アジア地域 セーフコミュニティ会議 in豊島



6th Asian Regional Conference on Safe Communities in Toshima

平成24年 **11月28日(水)~30日(金)**  
東京芸術劇場、サンシャインシティ・コンファレンスルーム  
<http://www.arcsc2012.com/jp>

日本社会は、震災等の自然災害、子どもや高齢者の事故、そして意図的な暴力など、改めて様々なリスクと向き合う必要に迫られています。

『セーフコミュニティ』とは、「WHO地域の安全向上のための協働センター」が推進する国際認証制度です。現在、世界で約280都市、日本でもそのネットワークは着実に広がりつつあります。東京の豊島区、長野の箕輪町、小諸市は、これまで協力して認証取得に取り組んできたことから、3自治体が共同で今年のアジア会議を開催いたします。

『セーフコミュニティ』活動は、効果のある対策を社会実装するために、研究活動、自治体政策、そして地域のコミュニティ活動等が、分野を越えて連携するところに特徴があります。

国内そして海外から、様々な領域の研究者、実践者、自治体関係者にお集まりいただき、「けがや事故は、偶然に起こるものではなく、原因を分析することで予防することができる」という理念のもと、地域社会の安全・安心の向上に向けた議論が分野を越えて繰り広げられることを願ってやみません。皆様のご参加を心よりお待ちしております。



〔大会長〕  
豊島区長  
高野 之夫  
平成24年度  
認証取得



〔副大会長〕  
箕輪町長  
平澤 豊満  
平成24年度  
認証取得



〔副大会長〕  
小諸市長  
柳田 剛彦  
平成24年度  
認証取得



〔実行委員長〕  
日本子ども家庭  
総合研究所 所長  
東京大学名誉教授  
衛藤 隆

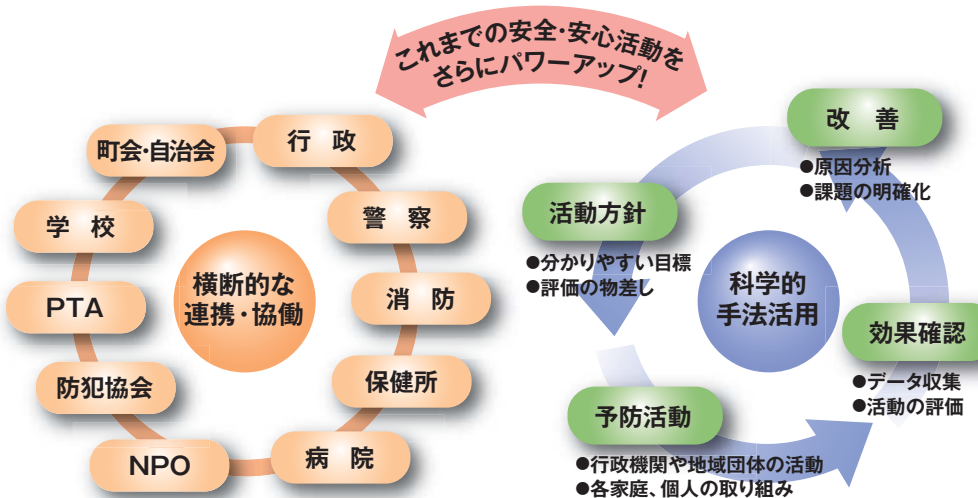
## ■主な会議テーマ

- 家庭、職場、交通、学校の安全
- 子ども、高齢者の安全
- 暴力・虐待、自殺の防止
- 地震など自然災害の減災
- 外傷サーベイランス、活動の評価・経済的効果
- 科学的根拠に基づく実践
- コミュニティ、分野を越えた連携・協働 など

## ■主な参加者

- 上記テーマにかかわる研究者、自治体・警察・消防関係者、NPO、地域の実践者・団体 など

改善を加えながら活動を継続していくために、セーフコミュニティでは「部門を越えた横断的な連携・協働」を広げ、従来の壁を乗り越えて推進力を生み出すことを重視します。



予防活動に「科学的な手法の活用」を取り入れ、客観的なデータに基づき、「活動方針」「予防活動」「効果確認」「改善」のサイクルを分かりやすく効果的に回し続けます。

《主催》 豊島区、箕輪町、小諸市、各セーフコミュニティ推進協議会  
 《共催》 WHO 地域の安全向上のための協働センター  
 アジアセーフコミュニティネットワーク  
 日本セーフコミュニティ推進機構  
 全国セーフコミュニティ推進自治体ネットワーク会議

《後援》 内閣府(予定)、文部科学省、厚生労働省、国土交通省、警察庁  
 長野県、長野県市長会、長野県町村会、警視庁  
 長野県警察本部、日本セーフティプロモーション学会  
 日本市民安全学会、警察政策学会  
 《運営》 第6回アジア地域セーフコミュニティ会議実行委員会

## ■会議プログラム（予定）


（基調講演、分科会、セミナーには同時通訳が入ります。）

11月28日（水） 東京芸術劇場・大ホール		11月29日（木） サンシャインシティ・コンファレンスルーム				11月30日（金） サンシャインシティ・コンファレンスルーム				
9:00	受付登録	基調講演 ①、②		基調講演 ③、④		分科会 ⑦ (6演題)	分科会 ⑧ (6演題)	分科会 ⑨ (6演題)	分科会 ⑩ (6演題)	分科会 ⑪ (6演題)
10:00	東京芸術劇場 (5階会議室)	休 憩				休 憩				
11:00		基調講演 ⑤、⑥		記念講演 ・豊島区 ・箕輪町 ・小諸市		分科会 ⑫ (4演題)	分科会 ⑬ (4演題)	分科会 ⑭ (4演題)	分科会 ⑮ (4演題)	分科会 ⑯ (4演題)
12:00	※受付は13時までに お済ませください。	昼休憩				昼食 & 閉会式 (※昼食代は会議参加費に含まれています。)				
13:00						※この後、「トラベリング・セミナー」(詳細:右 ページ下)です。(長野県箕輪町、小諸市)				
14:00	開 場	分科会 ① (6演題)	分科会 ② (6演題)	セーフコミュニティ セミナー	分科会 ③ (6演題)	※ポスターセッション及びセーフコミュニティ交 流会は、11月29日の午前・午後、30日の午前 の時間帯で断続的に行います。				
15:00	開会式 ・記念講演 ・記念スピーチ	休 憩				※このプログラムは、6月段階の予定を記載し たものであり、今後変更になる場合がありま す。				
16:00	豊島区認証式	分科会 ④ (6演題)	分科会 ⑤ (6演題)	セーフスクール セミナー	分科会 ⑥ (6演題)					
17:00	休 憩	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p><b>分科会のテーマ（予定）</b></p> <p>■家庭、職場、交通、学校の安全 ■子ども、高齢者の安全 ■暴力・虐待、自殺の防止</p> <p>■地震など自然災害の減災 ■外傷サーベイランス、活動の評価、経済的効果</p> <p>■科学的根拠に基づく実践 ■コミュニティ、分野を越えた連携・協働 など</p> </div>								
17:00	認証記念コンサート ・邦楽、舞踊 ・オーケストラ ・ゲスト：森山良子									
18:00										
19:00	オフィシャル・ディナー									

## ■発表演題の登録方法

発表種別	口頭発表又はポスター発表の2種類
募集演題	1ページの「主な会議テーマ」等にかかる研究、調査、実践、評価等に関するものとします。
発表言語	発表は、原則として英語ですが、英語での発表が困難な場合は日本語での発表も可とします。
抄録作成	・作成言語は、原則として英語です。英語での作成が困難な場合には日本語でも可とします。 ・文字数は、英語で400ワード（日本語の場合は800字）を限度とします。
申込方法	・下記ページで演題登録要領等をご確認のうえ、同ページの申込専用システム（トライリンク）から手続きを行って ください。 → <a href="http://www.arcsc2012.com/jp/abstract.html">http://www.arcsc2012.com/jp/abstract.html</a> ・演題登録を行うためには、まず会議への参加登録が必要となります。（4ページ参照） ・下記申込期限までに参加費支払いが確認できない場合、演題を受理できませんのでご注意ください。
申込期限	平成24年7月31日
決定連絡	・発表の可否、発表する分科会・時間等は、実行委員会による審査で決定します。 ・決定通知は、平成24年9月15日（予定）までにご連絡いたします。


## ■記念講演、基調講演 (アジア地域を中心に、世界の研究者や実践者から講演をいただきます。)



**レイフ スヴァンストローム** (Leif Svanstrom)  
スウェーデン王立カロリンスカ医科大学教授、WHOセーフコミュニティ協働センター代表


1970年代よりスウェーデンにおいて「セーフコミュニティ」活動のモデルとなった外傷予防プログラムに関わり、今日世界の多くのコミュニティで取組まれている「セーフコミュニティ」活動の推進を担ってきた第一人者。

1989年のWHOセーフティプロモーション協働センター設立時よりセンター代表としてセーフコミュニティ活動の普及のために世界中を奔走し、安全なまちづくりを指導している。




**ジュンピル チョ** (Joon Pil Cho)  
韓国アジョ大学医学部教授、地域安全向上センター代表、アジア地域セーフコミュニティ・セーフスクール認証支援センター代表

韓国に「セーフコミュニティ」活動を紹介し、スウォン(水原)市を韓国初の「セーフコミュニティ」認証に導いたアジアの第一人者。アジア地域の数多くの都市のセーフコミュニティ活動支援に取り組んでいる。



**衛藤 隆** (Takashi Eto)  
日本子ども家庭総合研究所 所長、東京大学名誉教授、医学博士、日本セーフティプロモーション学会 理事長、日本健康教育学会 理事長


小児の事故防止対策とセーフティプロモーション、幼児の健康度、乳幼児身体発育、B型肝炎ウイルス母子感染予防など、学校保健、乳幼児保健の領域での研究活動に取り組んでいる。



**シュリカント バンディワラ** (Shrikant Bangdiwala)  
USA ノースカロライナ大学生物統計学 教授


交通事故、児童虐待と家庭内暴力に関する予防プログラムの設計、実施、分析に係る地域レベルでの研究をされ、インド、南アフリカ及スウェーデン王立カロリンスカ医科大学で外傷予防プログラムを指導。

現在 USA 疾病管理予防センター外傷予防管理センターの専務理事で、また、セーフティプロモーション国際ジャーナルの共同編集長である。




**鈴木 隆雄** (Takao Suzuki)  
独立行政法人 国立長寿医療研究センター所長

老年学と古病理学を専攻。札幌医科大学助教授をへて東京都老人総合研究所勤務、2009年から国立医療研究センター所長。高齢者の寿命と健康水準の変化、病予防と介護予防といった長寿社会の諸問題を長年の研究成果から検証を行い、科学的根拠に基づく高齢者の健康施策の推進に取り組んでいる。



**アディサク プリトウボンカーンピム** (Adisak Pitponkarnpim)  
マヒドン大学ラマイボディ病院小児医学准教授 外傷調査政策センター同大学小児医学部の子どもの安全推進・外傷予防研究センター長、タイ産業省の国家安全審議会の子どもの外傷予防の委員を務める。子どもの外傷予防に関連し、災害マネージメント、緊急医療などの研究に取り組むとともに、タイにおけるセーフティプロモーション活動の推進に取り組んでいる。




**清水 康之** (Yasuyuki Shimizu)  
NPO 法人 自殺対策支援センター「ライフリンク」代表

元 NHK 報道ディレクター。自死遺児たちの取材をきっかけに、自殺対策の重要性を認識。2004年にNHKを退職し、ライフリンクを設立。10万人署名運動等を通して2006年の「自殺対策基本法」成立に大きく貢献する。自殺対策の「つなぎ役」として日々全国を奔走中。鳩山・菅政権においては、内閣府参与(自殺対策担当)を務めた。

※上記の講演者のほか、会議テーマに関連して第一線で活躍する講師の参加を呼び掛けています。


## ■セーフコミュニティ及びセーフスクールセミナー

セーフコミュニティやセーフスクールの基本的な考え方や進め方について、数多くのコミュニティを支援してきた経験をもとに、レクチャーをいただきます。




**ル パイ** (Lu Pai)  
台湾台北医科大学外傷治学研究所 准教授、台湾地域安全向上センター長、台湾事故障害予防・安全促進学会 事務局長

台湾にセーフコミュニティプログラムを導入した第一人者で「台湾のセーフコミュニティの母」と称されている。現在も、台湾の30以上のコミュニティの活動を支援するとともに、アジア地域のセーフコミュニティの支援活動に取り組んでいる。



**ボウ ヘンリックソン** (Bo Henricson)  
WHO セーフコミュニティ協働センター シニアアドバイザー、ヨーロッパセーフコミュニティ認証センター コーディネーター


スウェーデンアヤブローグのセーフコミュニティプロジェクトのリーダーを務め、WHOSC 協働センターの認証審査員等として、世界各地を回り、約80の現地視察と審査を経験している。



**マックス ボスキュラー** (Max Vosskuhler)  
ピースフル・リソースセンター (ISS・ISC 提携支援センター) 代表

WHO セーフコミュニティ協働センターとの協働のもと、「セーフスクール」というサブ領域を確立し、その認証の仕組みを構築した。

2003年にスウェーデンで初めてのセーフスクールの認証を行って以来、各国の活動を支援している。



**ナムスー バク** (Nam-Soo Park)  
韓国ヒョプソン大学健康管理部 准教授、アジア地域セーフコミュニティ・セーフスクール認証支援センター、アドバイザー教授、公認コーディネーター

アジア地域セーフコミュニティ・セーフスクール認証支援センターで、韓国のみならずアジア地域のセーフコミュニティ活動の普及に貢献。現在では、セーフスクールの研究を行うとともに、認証審査員として活動している。

## ■セーフコミュニティ交流会

国内でセーフコミュニティを推進する自治体やアジア地域のコミュニティなど、地域の実践活動を紹介するスペースを会場内に設置し、相互の交流と情報交換を行います。

## ■トラベリング・セミナー in 箕輪町・小諸市

本会議を主催する二つの都市、長野県の箕輪町と小諸市を訪問し、その取り組み(プログラム下記予定)を視察します。

	11月30日(金)	12月1日(土)	12月2日(日)
午前	アジア地域セーフコミュニティ会議  《昼食 & 閉会式》	■箕輪町視察 ・消防署、消防団による防災活動 ・セーフコミュニティモデル地区(北小河内地区)	■小諸市視察 ・交通安全対策(交通安全チャレンジ号体験) ・防災対策(災害対応訓練、住民支え合いマップなど)
午後	《長野県箕輪町へ移動》(貸切バス)  ・箕輪町歓迎セレモニー、懇親会	《昼食》 ・古田人形芝居観覧 《長野県小諸市へ移動》(貸切バス) ・小諸市セーフコミュニティ認証式典、認証祝賀会	《昼食》 ・マンズワイン小諸ワイナリー見学  《東京へ移動》(貸切バス)



## ■参加申し込み方法

◆下記ページの申込専用システム（トライリンク）から手続きを行ってください。

→<http://www.arcsc2012.com/jp/registration.html>

	早期割引		一般	
登録期限	平成 24 年 7 月 31 日		平成 24 年 9 月 30 日	
参加費支払期限	平成 24 年 8 月 31 日		平成 24 年 10 月 31 日	
参加費	一般	24,000 円	一般	29,000 円
	学生	21,000 円	学生	26,000 円

- ・参加費には、3日間の会議（開会式、基調講演、分科会、セミナー等）への参加のほか、抄録代、閉会式（昼食代込み）の費用が含まれています。
- ・トラベリング・セミナー、食事代、オフィシャル・ディナー（28日）、宿泊費、交通費は含まれていません。
- ・早期割引は、上記早期割引の期限内に参加登録・支払いを完了した場合の参加費です。

## ◆オプション

11月28日のみの参加（開会式、豊島区認証式、コンサート）	3,000 円	申込・支払期限 平成 24 年 10 月 31 日
11月28日「オフィシャル・ディナー」19時～ ホテルメトロポリタン	10,000 円	
11月29日の昼食（お弁当）	1,000 円	

## ◆トラベリング・セミナー（定員 80 名）

11月30日～12月1日の宿泊2泊、昼食2食、交通費	20,000 円	先着順 ※定員になり次第締切り
11月30日箕輪町歓迎会（夕食）	5,000 円	
12月1日小諸市認証式	無料（要登録）	
12月1日小諸市認証祝賀会（夕食）	5,000 円	

## ◆支払方法

- ・申込手続き同様、申込専用システム（トライリンク）からクレジットカード決済でお支払ください。
- ・実行委員会からの請求書によるお支払いをご希望の場合は、事務局までお問合せください。

## ■会場案内

11月28日

東京芸術劇場

コンサートホール（大ホール）

〒171-0021

東京都豊島区西池袋 1-8-1  
（池袋駅西口より徒歩 3 分）

オフィシャル・ディナー

ホテルメトロポリタン3F「富士」

11月29,30日

サンシャインシティ・  
カンパレンスルーム

（ワールドインポートマート 5 階）

〒170-8630

東京都豊島区東池袋 3-1-1  
（池袋駅東口より徒歩 8 分）

（有楽町線東池袋駅より徒歩 3 分）



「第6回アジア地域セーフコミュニティ会議」実行委員会事務局

豊島区セーフコミュニティ推進室

〒170-8422 東京都豊島区東池袋 1-18-1 豊島区役所内

TEL:03-3981-1782 FAX:03-3981-4333 E-mail:A0029300@city.toshima.lg.jp